



東伊豆町×ドコモショップ沼津八間通り店

スマホ教室

初心者向け

参加費無料

スマホを持っている方、スマホへの切り替えを検討されている方を対象に使い方教室を開催します。

使い方がよくわからない、スマホを使って調べものがしたい町のLINEに登録したいという方にピッタリの**初心者向け講座**となっています。専門の講師が一つ一つ丁寧に説明しますのでぜひお気軽にご参加ください！

基礎講座

【場所】	保健福祉センター 1F	研修室
【日時】	8/4 (月) 11:00～12:00	LINE編
	8/11(月) 11:00～12:00	カメラ操作編
	8/18(月) 11:00～12:00	インターネット編
	8/25(月) 11:00～12:00	文字入力編
【参加費】	無料	
【準備物】	スマートフォン	

参加方法

◎事前予約制◎各部先着4名まで◎町にお住まいの方

※ご予約の受付は各回実施日の3日前、午前中までをお願いします。

＼予約受付はこちらまで／

東伊豆町企画調整課 ☎ 0557-95-6202

<注意事項>

- ・ご予約時「名前」「居住地区」「年齢」「スマホ所有の有無」「ご契約(予定)会社」「連絡先」をご質問します。
- ・ご予約後にやむを得ずご欠席となる場合は、必ずご連絡ください。



スマホ講習会

**参加
無料**

初心者でも安心してスマホの活用方法を学べる講習会です。

実際に体験しながら一緒に学びませんか？

お住いの近くの会場で受講することが可能です。



開催スケジュール

日程	時間	場所	講座内容
8/4	13:30～14:30	東伊豆町保健福祉センター	マイナポータルを活用しよう
8/4	15:00～16:00	東伊豆町保健福祉センター	オンライン診療を使ってみよう
8/11	13:30～14:30	東伊豆町保健福祉センター	全国版救急受診アプリ（Q助）で病気やけがの緊急度を判定しよう
8/11	15:00～16:00	東伊豆町保健福祉センター	生成AIを使ってみよう
8/18	13:30～14:30	東伊豆町保健福祉センター	マイナポータルを活用しよう
8/18	15:00～16:00	東伊豆町保健福祉センター	マイナンバーカードを健康保険証として利用しよう・公金受取口座の登録をしよう
8/25	13:30～14:30	東伊豆町保健福祉センター	浸水ナビを使って水害シミュレーションを見てみよう
8/25	15:00～16:00	東伊豆町保健福祉センター	ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう

7月22日（火）受付開始**お申込み
問い合わせ****スマホ講習会 受付窓口**
(東伊豆町企画調整課生涯活躍応援係)**電話****0557-95-6202****受付時間**

8:30～17:15（土日祝日を除く）

参加の申し込みは
こちらに
ご連絡ください



スマホ講習会

参加
無料

..... 講座別持ち物 一覧

講座名	スマートフォン以外の持ち物
マイナポータルを活用しよう	マイナンバーカード、利用者証明用電子証明書のパスワード(数字4桁)
マイナンバーカードを健康保険証として利用しよう・公金受取口座の登録をしよう	マイナンバーカード、利用者証明用電子証明書のパスワード(数字4桁)、銀行口座番号(通帳)(任意)
オンライン診療を使ってみよう	健康保険証(任意)、クレジットカード(任意)
全国版救急受診アプリ(Q助)で病気やけがの緊急度を判定しよう	—
ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう	—
浸水ナビを使って水害シミュレーションを見てみよう	—
生成AIを使ってみよう	—

スマートフォンをお持ちの方は、ご持参ください。

ご持参ない場合でもスマートフォンのお貸出しは可能です。どなたでもご参加ください！

開催受付(火) 日22月7

お申し込みの受付
は、この
日までです。

口座受付 全世帯用
(お申し込み先主郵便局全世帯用)

0257-92-7250

電話

お申し込み
は、この
日までです。

開催受付

(お申し込み先主郵便局全世帯用)

納税だより

伊豆下田納税貯蓄組合連合会（下田市二丁目3番22号）TEL.0558-22-3386



納税貯蓄組合連合会では、次の世代を担う小学生・中学生の皆さんに税に対する関心を深めてもらうために、今年の夏休みも「税に関する作品（習字、ポスター、作文）」を募集します。皆さん奮ってご応募ください。

応募者全員に参加賞のほか、優秀作品には県知事賞や県教育長賞・税務署長賞等が贈られます。また、国税庁との共催で行う「中学生の税の作文」については、県連・局連の審査を経て全納連が審査し、内閣総理大臣賞・総務大臣賞・財務大臣賞・文部科学大臣賞・国税庁長官賞等も贈られます。

本年も昨年に引き続き「税についての作文」で最優秀賞を受賞された生徒さんには記念として「一日税務署長」を務めていただく予定です。職場体験と同様の有意義な経験になると思います。

たくさんの応募をお願いします。

募集要項

項 目	習 字	ポ ス タ ー	作 文
対 象	小学校6年生	小学校6年生	中学校在校生
課 題	「税 と 未 来」	税に関係があるもの	税 に関 する こと (題材は自由)
用 紙	半紙たて書	四つ切画用紙	原稿用紙 (400字詰め)3ページ以内
氏名等の記入	作品の左側に学校名 学年・氏名を記入	作品の裏側に学校名 学年・氏名を記入	作品のはじめに題名・学 校名・学年・氏名を記入
締 め 切 り	令和7年9月2日 火曜日 市・町税務担当課に提出		

キャッシュレス納付のご案内

国税の納付は、金融機関や税務署等の窓口に行く必要がない、非対面の「キャッシュレス納付」が大変便利です。

ダイレクト納付



こんな方におススメ!

e-Taxで申告されている方、源泉所得税の毎月納付など頻繁に納付手続をされている方

さらに詳しい情報は
こちら



ダイレクト納付の申込みをすることで、e-Taxから簡単な方法で口座引落としにより納付する方法です。

納付方法

パソコンやスマホから、即時又は納付日を指定して、口座引落としにより納付する方法です。

事前手続

e-Tax利用開始届出書、ダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。



伊豆下田納税貯蓄組合連合会 賛助会会員

〔金融機関〕(順不同)

静岡銀行

下田支店
稲取支店
河津支店
松崎支店

スルガ銀行

下田支店
松崎支店

静岡中央銀行

下田支店
稲取支店
松崎支店

三島信用金庫

下田中央支店
東伊豆支店
河津支店
南伊豆支店
松崎支店
西伊豆支店



富士伊豆農業協同組合 (伊豆太陽地区)

下田支店	南中支店	熱川支店	仁科支店
下田北支店	竹麻支店	河津桜店	宇久須支店
白浜支店	稲取支店	松崎支店	



〔個人の皆様〕(五十音順 敬称略)

飯田和也(河津)	石島専吉(東伊豆)	内田昌宏(河津)	遠藤一郎(下田)
木下茂文(南伊豆)	国本正徳(西伊豆)	竹内聖(東伊豆)	田中道源(松崎)
田中豊(下田)	辻村徳和(下田)	土屋市次郎(下田)	土屋典之(河津)
土屋真塩(下田)	中才雄次(下田)	中田衛(下田)	橋本智洋(下田)
平山徹雄(下田)	森亨(下田)	山田雅志(西伊豆)	吉澤昭(南伊豆)
渡邊一誠(南伊豆)	渡邊清一郎(下田)		

2025

7月30日 水

10:00～11:30

13:00～14:30

15:00～16:30

場所 東伊豆町役場1階第4会議室
(東伊豆町稲取3354)

持ち物 スマートフォン

こんなことはありませんか？
メールがどこに届いているかわからない。
病院の予約の仕方がわからない。
スクショってなに？などなど...
一つずつ丁寧にお伝えします！
スマートフォンを使った生活が
もっと楽しく便利になるよう、
皆さんと一緒に学んでいきましょう。
お待ちしております！

楽しく学べる！

スマホ教室

参加無料

お申込み・お問い合わせ

TEL 090-2964-1383 渡邊

お気軽にお電話ください

繋がらない場合は、折り返しお電話いたします

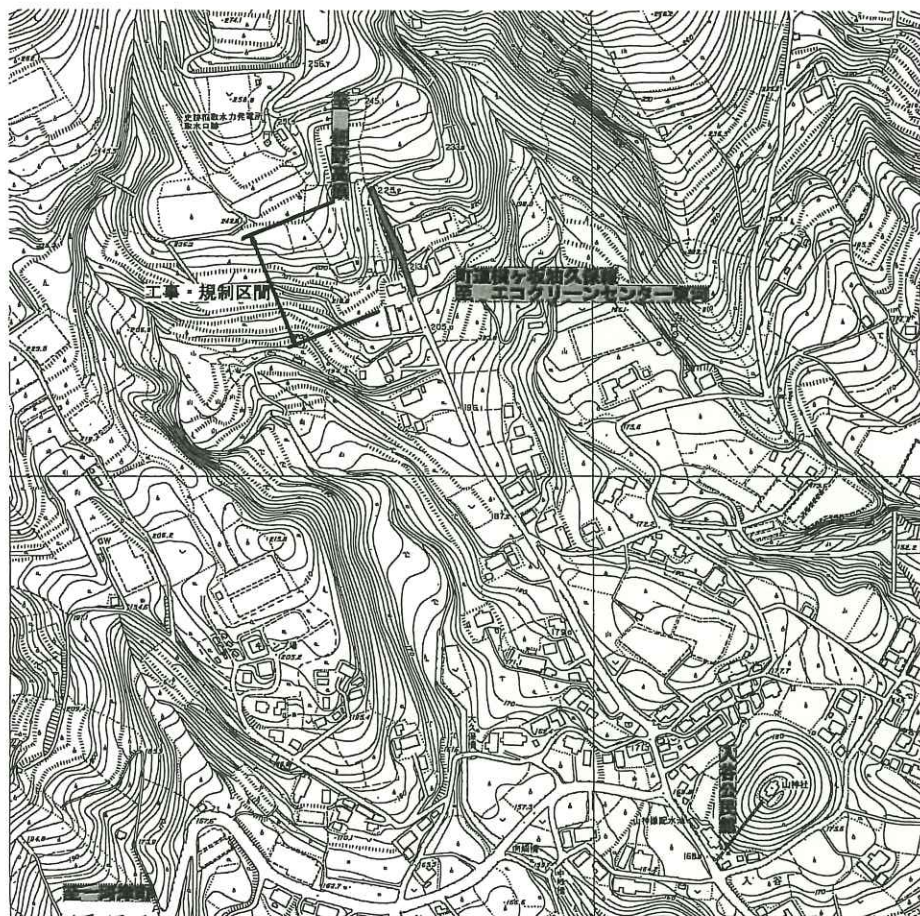
回 覧 水道工事に伴う町道入谷天城 1 号線交通規制のお知らせ

町道入谷天城 1 号線において水道管更新工事を行います。

下記の区間・期間内において 8 時 0 0 分から 1 7 時 3 0 分まで「片側交互通行」とさせていただきます。

なお、現場付近では規制実施の有無について看板にてお知らせするとともに、交通誘導警備員を配置いたします。

期間中、大変ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



1. 工事期間

令和 7 年 7 月 1 8 日 (金) から
令和 7 年 1 0 月 3 1 日 (金) まで

2. 規制時間

8 時 0 0 分～1 7 時 3 0 分
(夜間, 土・日曜日, 祝祭日除く)

3. 連絡先

東伊豆町水道課 TEL 95-2353
(有)三共設備工業 TEL 95-0656



第15回

小林道夫サマーアカデミー

in 下田2025



写真 木之下晃

Schedule

8月21(木)～23(土)

サマーアカデミー(リハーサル)

バッハカンタータクラブのメンバーが世界的な音楽家である小林道夫氏の指導を受けます。期間中のリハーサルは一般公開いたします。

— リハーサルを聴きにいらっしゃいませんか —

21日(木) 13:30～17:30

22日(金) 13:30～17:30

23日(土) 13:30～17:30

聴講券

一日券(特別演奏会チケット含まない) 1,500円

全日程券(特別演奏会チケット含む) 5,000円

8月24(日)

特別演奏会

指揮：小林道夫

東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会

現役合同有志オーケストラおよび合唱

J.S.バッハ

ヨハネ受難曲 BWV245

開場13:00／開演13:30

特別演奏会チケット 2,000円(全席自由)

会場 下田市民文化会館 大ホール

※未就学児の入場同伴はお断りいたします

2025

SUMMER ACADEMY in SHIMODA

Michio Kobayashi

■ プレイガイド

下田市民文化会館 0558-23-5151／村上書店(本店) 0558-22-0120／ムラカミ書店アネックス店 0558-25-0500

クシダレコード店 0558-22-0049／尾崎書店(下賀茂) 0558-62-0136／ハイキャット(稲取) 0557-95-0859／ル・グッテ(松崎) 090-5615-7784

※プレイガイドでは特別演奏会チケットのみの販売となります。リハーサルの聴講を希望される方は、文化会館窓口でご予約下さい。

■ 主催 東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会 ■ 共催 (公財) 下田市振興公社

■ お問い合わせ 下田市民文化会館 〒415-0024 静岡県下田市4丁目1番2号 電話:0558-23-5151

駐車スペースには限りがございますので満車の際にはご了承ください。

東京藝術大学バッハカンタータクラブ創立55周年記念

第15回小林道夫サマーアカデミーin下田2025

東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会は、同クラブ現役部員とOBの志願者を受講生として、伊豆半島下田にてサマーアカデミーを開講します。講師は、世界的鍵盤楽器奏者、音楽学者でありバッハのスペシャリストとして名高い小林道夫氏で、氏はクラブの創立以来の指導者でもあります。学生時代に小林道夫氏の下で研鑽を積み、現在は音楽界の第一線で活躍するOBの演奏家と、将来を嘱望される大学生達が一堂に会し、プロフェッショナルな指導を受けます。また最終日には特別演奏会を行います。



写真 木之下晃

特別演奏会 8月24日(日) 開場13:00/開演13:30

プログラム

J.S.バッハ ヨハネ受難曲 BWV245

(出演者、曲目は変更する可能性があります。)

指揮：小林道夫

東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会

現役合同有志オーケストラおよび合唱

東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会

東京藝術大学バッハカンタータクラブOB会は、東京藝術大学バッハカンタータクラブに在籍した東京藝術大学卒業生によって構成されている。東京藝術大学バッハカンタータクラブは、東京藝術大学の学生の自主活動として、1970(昭和45)年に結成された。バッハのカンタータ作品を演奏する事を目的に集まった声楽・器楽の学生を中心に、指揮者として当時すでに音楽界で不動の地位を固めつつあった小林道夫氏を、また顧問には楽理科の教官であった音楽学者の故・服部幸三氏を迎えて活動を開始した。その後、顧問は角倉一朗氏、土田英三郎氏を経て、現在、大角欣矢氏があたっている。クラブのOBには、現在日本あるいは世界の音楽界で活躍し、古楽演奏の指導的立場にいる者も多い。小林道夫氏は2005年3月をもって指導者を退いたが、現在も名誉指揮者としてクラブに大きな影響を与え続けている。

下田でのサマーアカデミー開講は、今回で15度目となる。

小林道夫プロフィール

1933年生まれ。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。1965年、デトモルト北西音楽大学に留学、チェンバロ奏者としては、ドイツ・バッハ・ゾリステン、フランクフルト・バッハ・オーケストラと共演。帰国後は、チェンバロとピアノの独奏および伴奏、バロック音楽、アンサンブル、指揮、合唱など、きわめて多方面にわたる活躍を続けている。これまでに数々のすばらしい演奏家と共演(ヘルマン・プライ、ジャン＝ピエール・ランパル、オーレル・ニコレ、エルンスト・ヘフリガー、フィッシャー＝ディースカウ、モーリス・アンドレ、ペーター・ダム、ピエール・フルニエ、ヨゼフ・スークなど)ジェラルド・ムーアに比肩する伴奏者として、日本のみならず、世界各地で高く評価されている。2006年よりマイスターミュージックからCD、～小林道夫の芸術～を現在8種類発売、好評を博している。1956年毎日音楽賞・新人奨励賞、1970年第一回鳥井音楽賞、1972年ザルツブルグ国際財団モーツァルト記念メダル、1979年モービル音楽賞を受賞している。東京藝術大学バッハカンタータクラブとは創立時より35年間指導者として関わり、数多くの後進を育てた。現在、名誉指揮者。

下田(伊豆急下田駅)へのアクセス

東京から熱海まで新幹線利用、その後JR伊東線、伊豆急行利用で約2時間40分
または東京から伊豆急下田までJR特急踊り子利用で約2時間55分



ひがしいず 議会だより

2025 No.320

7
月号



人形劇で地元の民話を後世に P12にて紹介

議会HP



新議長・新副議長決まる	2~3
第2回定例会主な議案	4~5
一般質問	8~11
かがやくまちのひと	12

5月20日の令和7年第1回臨時会において、常任委員会委員を選出しました。これから2年間よろしくお願いいたします。

総務経済常任委員会



委員長 鈴木 伸和
副委員長 山田 豪彦
委員 稲葉 義仁
委員 須佐 衛
委員 内山 慎一
委員 定居 利子

これからどのような活動を目指しますか

所管する産業経済の振興を基本とし、地域内経済の循環を主テーマとして様々な産業分野を学びながら、関係者の方々からの意見聴取や調査研究活動を行う。

文教厚生常任委員会

委員長 西塚 孝男
副委員長 山田 直志
委員 楠山 節雄
委員 笠井 政明
委員 栗原 京子
委員 村木 脩



これからどのような活動を目指しますか

老朽化した水道管が問題になっている水道事業、見直しが行われている町防災計画、部活は地域で行う地域移行問題、不登校の増加など町民生活に係わる問題を調査して提案していきたい。

これからどのような活動を目指しますか



議長 栗原 京子

このたび東伊豆町議会議長に就任いたしました栗原京子です。子育て支援や高齢者の安心な暮らし、観光振興など、町の未来を見据えた取り組みに議会一丸となって努めてまいります。町民の皆様にとって身近で開かれた議会を目指し、皆様の声に真摯に耳を傾けながら、笑顔あふれる東伊豆町を共に築いていきたいと願っています。今後ともご支援をお願いいたします。

新議長・新副議長に聞きました

これからどのような活動を目指しますか

町民の皆さんにとってもっと身近で開かれた議会となれるよう、しっかりと議長をサポートしながら、様々な機会で見交換の場を設けるなど、気軽に声をかけてもらえるようになること、また頂いた意見を議会の提言として取りまとめ、よりよい町づくりに貢献していくことを意識して取り組んでいきたいと思っています。



副議長 稲葉 義仁

議長選挙結果

栗原京子 11票 須佐 衛 1票

副議長選挙結果

稲葉義仁 9票 須佐 衛 3票

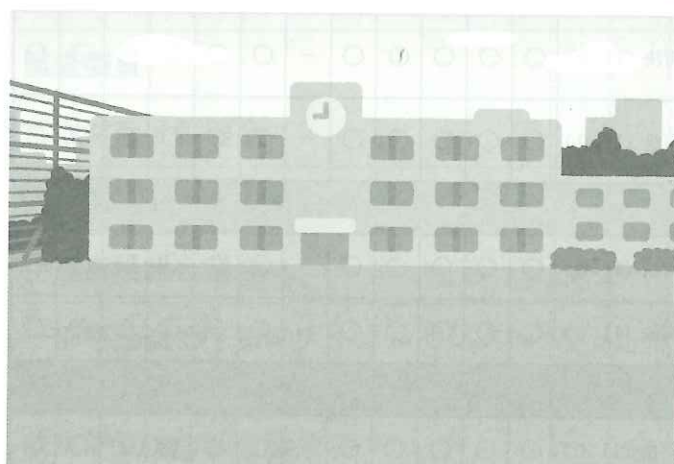
第2回
定例会

学校整備に向け

令和7年第2回定例会を6月12日から13日までの会期
審議した結果、全て原案通り可決しました。また、一般質

Pickup ① 学校整備に向けて周辺地の測量

2,362万円



新しい学校を創るために
熱川中学校周辺の土地が活
用可能か、調査・測量、道
路設計を行います。

Pickup ② 妊婦健康診査交通費等支援

196万円

予算で計画した分娩施設
通院費用補助が見直された
ため。町は独自に検診のた
めの通院に60分以上かか
る妊婦さん交通費（車、電
車、タクシー）の8割を補
助します。



て周辺地の測量へ

で開催し、条例改正2件・財産の取得2件・補正予算3件などを
問は8人の議員が登壇しました。（8～11ページ参照）

Pickup ③

縦貫道残土で農地造成へ

300万円



縦貫道のトンネル
工事の残土を使い稲
取地区の2カ所で農
地造成をするため
に換地等の調査を行
います。

Pickup ④

津波等に強い堤防へ

292万円



稲取漁港の田町堤
防、離岸堤防の耐震・
津波対策工事を県が
行います。その事業
の一部を町が負担し
ます。

Pickup ⑤

観光コンセプト検討

330万円



町をどういう観光地
にするのか。地域ごと
の方向性などを話し合
い、まとめます。

Pickup ⑥

カーナビテレビ視聴料

159万円



全国的に発覚した
TV付きカーナビ
ゲーションのNHK
受信料未払い問題に
おいて当町でも調査
を行ったところ、車
両12台分のNHK受
信料未払いが発覚し
たため一括で支払い
ます。

Pickup ⑦ 5歳児検診開始

町の単独事業として、5歳児の健康診断を
保健センターで行います。

その他委員会

◎委員長 ○副委員長 ☆委員

議員名	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
組織名												
総務経済常任委員会	○	◎			☆			☆		☆	☆	
文教厚生常任委員会			☆	☆		☆	◎		☆			○
議会運営委員会	☆	☆		◎			☆					○
議会広報編集委員会	☆	☆		○	◎	☆						☆
監査委員											☆	
稲取財産区管理会							☆		☆	☆		
東河環境センター議会			☆				☆			☆		
伊豆斎場組合議会	☆								☆			
一部事務組合下田メディカルセンター議会				☆								☆
駿東伊豆消防組合議会		☆						☆				
東伊豆町国民健康保険運営協議会	☆			☆				☆		☆		
東伊豆町都市計画審議会									☆			☆
東伊豆町空家等対策協議会		☆										
東伊豆町社会福祉協議会							☆					
伊豆横断道路建設促進期成同盟会		☆				☆						
伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会						☆						
河津下田道路及びアクセス道路建設期成同盟会						☆						
伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアクセス道路網建設促進期成同盟会						☆						
東伊豆町町民安全連絡会議						☆						
提案型まちづくり補助金審査委員会		☆					☆					

※監査委員は、町の事務を質疑・審査できる立場であることから、以下のような慣例がある。

- ・常任委員会以外の委員に所属しないこと。
- ・一般質問をなるべく控えること。

第2回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
条例の一部改正													
議案第35号 会計年度職員の給与等に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第36号 国民健康保険税条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
補正予算													
議案第39号 令和7年度一般会計補正予算(第1号)	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第41号 令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
委員選任の同意													
同意案第16号 固定資産評価審査委員会委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
同意案第17号 教育委員会委員の任命	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
財産の取得													
議案第37号 災害用バイオトイレ	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第38号 災害用トイレトレーラー	可決 (11:0)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

令和7年5月20日開催
第1回臨時会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
専決承認													
専決承認第2号 町税賦課徴収条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
委員選任の同意													
同意案第11号 町監査委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第12号 稲取財産区管理会委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第13号 稲取財産区管理会委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第14号 稲取財産区管理会委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第15号 固定資産評価員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 幼小中学校の一貫校の候補地は

A 総合的に熱川中学校が望ましいと判断

Q 委員会からは熱川中学校が望ましいとの答申であった。稲取地区に選定すれば全児童生徒が歩いて通学できるが、熱川中学校では電車、バス等の通学となり、費用が掛かる。利便性や財政負担があり経済性に欠けるが、その辺の配慮はしなかったのか。

A 学校教育環境整備委員会に対してはどのような教育が将来の子供たちにとっていいのかを一番に検討いただくよう依頼し、その結果熱川中学校が望ましいとの答申となったと理解している。つまり町の財政負担よりこれからの児童生徒の教育環境を優先して方向づけをしたということである。



説明会の様子

Q 熱川中学校を候補地として「アクセス道路の建設」「敷地拡張のための造成」の設計業務委託を予定しているがその結果で候補地の変更はあるか。

A 調査を進める中で様々な事が確認できるかと思う。選択肢として可能性を全て排除するわけではないが、現状では熱川中学校が最適と考えている。

Q 国道の白田橋上流側への側道橋の要望は

A 現状では考えていない

Q 令和4年の5月に下田土木事務所に側道橋の要望を行ったというが、報告会の意見も踏まえ再度要望する考えはないか。

A 下田土木事務所に側道橋の設置について投げかけをした際、増設は困難との回答があった。今後学校の統合なども踏まえ、地域や人の流れ、町並みが変わっていくと考えるが、現状はそこまで至っていない。状況が変わり次第、地域の方の意見も聞きながら適切な対応を考えていく。



路側帯が狭い国道の白田橋

Q 仮に側道橋の設置を検討する場合、現段階で事業費はどれくらいかかるか。また、国、県、町の負担割合はどうなるか。

A 令和4年度の試算で4億5千万円、現在の相場で6億8千万円ほどになると推測。また側道橋前後の歩道整備が重要であり、そこにも多大な事業費が必要。負担割合については事業により補助要件が異なるので現段階では答えられない。

Q リフォーム振興事業への認識は

A 毎年の実施上からも意義のある事業だ



非住宅建物まで支援の拡大は

Q 補助対象を住宅にしているにもかかわらず「住宅リフォーム振興事業」としてない理由は、

A 事業の一番の目的は町民の快適な住環境の充実にあり、非住宅を補助対象としていない理由は、

Q 創設当初から「リフォーム振興事業」という名称を使用している。一方補助金の交付要綱では「東伊豆町住宅リフォーム振興事業補助金交付要綱」となっているが特に深い理由はない。

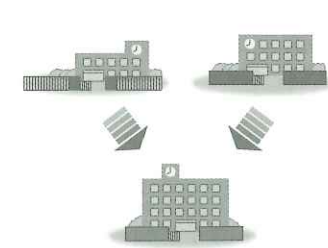
A 非住宅を補助対象としない理由は、必要に迫られては必要と認識もある。必要に応じてふさわしい柔軟な対応の検討も必要と感じているが、先ほど説明した国・県の補助制度を組み合わせた活用も考えも持ってもらえればと考える。

Q 補助対象を住宅にしているにもかかわらず「住宅リフォーム振興事業」としてない理由は、

A 事業の一番の目的は町民の快適な住環境の充実にあり、非住宅を補助対象としていない理由は、必要に迫られては必要と認識もある。必要に応じてふさわしい柔軟な対応の検討も必要と感じているが、先ほど説明した国・県の補助制度を組み合わせた活用も考えも持ってもらえればと考える。

Q 小中一貫校完成まで統合はしないのか

A 選択肢の一つとして段階的な統合も検討する



老朽化が進んでいるため統合して新しい校舎へ

Q 小中一貫校完成まで統合しないのか。段階的な統合の検討は。

A 選択肢の一つとして段階的な統合も検討する。

Q 令和4年の答申を受け、今まで統合に向けた基本方針など聞こえて来ないが。

A これまで学校教育環境整備委員会、教育の考え方やその具体的な方策などを、基本構想に關する部分を十分検討いただいた。答申を踏まえ、基本構想、実行計画を策定していく。計画策定においては専門家の知見など念頭に置きながら庁内プロジェクトチームで検討していく。



楠山 節雄 議員



実を図り、幸福度を向上させる事である。一方、店舗等非住宅については、考え方としては経済対策的な意味合いが強く、小規模事業者持続化補助金など既にある国・県の補助制度を活用していくことも必要。



笠井 政明 議員



Q 基本方針その他スケジュールはいつまでに行うのか。

A 基本構想は用地が確定した段階で作成。そこから基本計画など進めていく。

Q 伊豆縦貫自動車道事業に伴う町の役割は

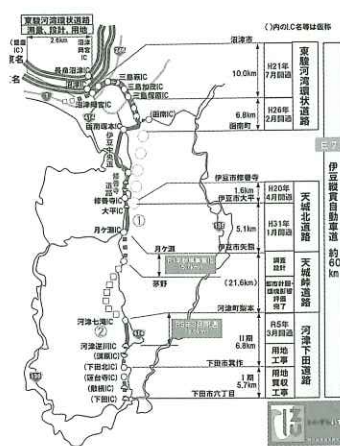
A 要望活動をしっかりとやっていきたい

Q 早期全線開通に向けて、町として独自の要望活動等の実施は。

A 6つの期成同盟会にて合同で要望活動を実施している。今後も合同であるが要望活動をしっかりとやっていきたい。

Q スピードアップに向けて予算の確保以外に重要な課題は。

A 明確な答えはないが、今や隣市町で受け入れることで処分費の抑制が図られ、スピードアップにつながると思う。地域が連携して受け入れ態勢



伊豆縦貫自動車道の概要図

Q を整えることがとても重要。

Q 各市町で受入れが進む建設発生土について町の予定は。

A 県営の中山間地域農業農村総合整備事業で稲取地区の二か所に基盤整備を予定。一か所目は、小杉山工区（最終処分場西側）に4万㎡・0.9ha、2か所目は、中川工区（東電稲取変電所山側）に4万9千㎡・1.3haに農地を整備。

Q 田中見高集落道の計画についての見解は。

A 河津町の敷地内の事業であるが、当町としても重要な路線であると考え、これまでと同様に整備計画を進めるために河津町と協力し事業を進めていきたい。

Q 「港の朝市」をどう見ているか

A 東伊豆町にとって大切な観光スポットである

Q 「港の朝市」を利用者の視点でみてどのように考えているか。

A 「港の朝市」は平成9年にスタートし、東伊豆町を訪れるお客様にとって立ち寄るべき観光の目的地として定着をしている。利用者目線からみた場合、駐車場の1階部分なので少し薄暗く感じることもあるかなという印象はある。また看板の整備など、目立つようにはしているが、道路側からは見えないため、会場内の雰囲気がかげえないといった印象



賑わいを見せる港の朝市

Q 会場内の整備の考えは。

A 建設の目的はあくまでも駐車場なので、構造的な部分や規制もあるため、その辺りに注意しながら要望に応じていきたい。今後運営委員会の方々と話し合い、意見を伺いながら協力、応援していければと思う。

Q 「港の朝市」がある程度の店舗数を維持して更に活性化できるような仕掛けができないか。

A 施設整備はハードルが高いので、インキュベーション的な意味付けの仕方、「港の朝市」に出店し、いい成績を収めた場合には町の中に展開していくというようにしていくという形はあるかもしれない。



インキュベーション施設とは
起業家の事業拡大や成功を支援する目的のもと、通常よりも安価な賃料で提供される施設

Q 統合までの子供たちをどうするのか

A 統合前でもやれることもあると考え検討したい



みんなで楽しく学べる環境を

Q 学校間の交流について、具体的な計画や活動として実現した事、現在検討中の事はあるか。

A 交流活動は大変重要ではあるが、あくまでも教育活動の手段である。授業時間の確保が最優先事項となっている中、新たな行事等を企画することは困難な状況ではあるが、今年度は中学校において合同の音楽発表会を9月に行う計画が進んでいる。今後もICTを活用した合同事業や目的地を同じにした遠足の実施

Q 賀茂地区の将来を考えた場合、学校間の交流活動は必ず必要になると考える。現在の学校環境の中でも地域を越えた交流の知見を深めるという考え方もあると思うが。

A 行政としても、子供たちのためにやれることはしっかりとやっていきたい。

Q 町民の声をもっと聴いては

A 学校統合では町民の声を反映させた



町長と語ろうまちづくりの会

Q 地域活性化の3要素「よそ者、若者、馬鹿者」と言われている。岩井町長はいわゆる「よそ者」であり、まちづくりの上では新しい視点で見ることや当たり前の価値見直しなどが出来る。一方で、町民の生業や特に高齢者の暮らしなどについては見聞が足りていないと思われる。皆で課題を解決するためにも町民との対話する場を積極的に設けるべきではないか。

A 町長と語ろう町づくりの会、白田片瀬コンパクトシティ検討会議、観光まちづくり等、各テーマごとの議論、検討の場で深掘りしているのが現状であり、結果的に産業関係者との意見交換が多くなったと認識しているところでもあるので、今年度はあじさい学級で意見を伺うなど、高齢者の日常生活について聞いた、情報発信できればと考えている。

Q 町長を見たことがない。会ったことがないとの町民の声を良く聞く。役場のOBでも町は何をやるうと言っているのか分からない。一方、学校統合では全員協議会で受けた説明から少し変わってきたように感じた。町民の声を聞き、対応したのではないか。

A 課題解決のために町民と一緒に同じ方向を向いてやっていきたい。説明が足りていない所は努力したい。学校統合では、町民の声を聞いて反映させた。



稲葉 義仁 議員



等について模索していきたい。

Q 一定の人数が確保された環境で子供の関わり合いを重視した教育を進めることが統合の目的であり、これが早急に叶わないのであれば実現までの間、それに代替するものを用意し、子供たちの教育環境を少しづつでも整備していく考え方も必要と思うが。

A これまでの活動も様々な提案をもとに先生方が苦勞して実現したものであり、現実的に難しい部分はあるがいろいろ考えてはいきたい。



山田 直志 議員



かがやく まちのひと

Vol.22

今回は、柿沼悠子さんが奈良本に移住してきたことを機会に結成し、東伊豆町立図書館を中心に活動している人形劇団「あしたば」の30年間の活動について伺ってきました。



代表の柿沼悠子さん

「いつ頃からどんな方々と活動していますか。」

川崎に住んでいる頃から人形劇の活動をしていました。当町へ移住して子供達に本物の人形劇を見せてあげたいと図書館で人形劇を開催したところ大好評。その当時に幼稚園児を連れて観にきたお母さん達が今ではメンバーに加わり、お孫さん達の喜ぶ顔が見たいと頑張っています。平成8年から現在まで約30年活動しています。今となればその名のとおりでと感心しますが、発足当時、「今日摘んでも明日には芽が



天狗のくれたはさみ石

日摘んでも明日には芽が人形・BGMも全てオリジナルです。代表的な作品は「天狗のくれたはさみ石」で、他にも初めての作品「太田の大ガニ」をはじめ「築城石物語」、「ひなのつるし飾り」等があります。図書館で年



手作りの人形たち

に1回、町民文化祭では、毎年公演しています。平成12年には、広島で開催された国民文化祭で静岡県代表として出演しました。

「どんな思いで開催していますか。」

一番の理解者は、拠点とさせていたでいるこの町の図書館だと思っています。練習場所の提供から倉庫まで提供していただいています。又、長年サークルを支えてくれている皆様にも感謝の気持ちを忘れずに活動しています。毎週水曜日の午後2時から4時に図書館2階で練習などの活動をしています。興味のわいた方、参加してみたい方は是非見に来て下さい。大歓迎でお待ちしております。

編集後記

本定例会の一般質問では、4名が学校統合をはじめとした教育関連の課題を取りあげた。学校の統合については、令和元年11月に小中一貫教育研究会により目指す方向が規定されて以来、5年以上が経過している。翌年からコロナ禍が続き、町のおかれた状況も大きく変化したという事情はあるものの、「時間がかかりすぎ」という印象を受けたとしても否定できない。今から取り組める事、段階的に取り組む事をしっかりと整理して進めていくことによりそういった印象を払拭し、今いる子供たちがより良い環境で学ぶことができるよう取り組んでいきたい。

(稲葉)

議会広報編集委員会

委員長	稲葉義仁
副委員長	笠井政明
委員	山田豪彦
委員	鈴木伸和
委員	栗原京子
委員	山田直志